

常滑艇庫移転に伴う蒲都市有地のヨット艇庫用地としての借用等について

中部学生ヨット連盟（とりまとめ：名古屋大学学務課）

大 学 名	名古屋大学	名古屋工業 大 学	愛知学院 大 学	愛知工業 大 学	名古屋学院 大 学	南山大学	名城大学	愛知教育 大 学	(愛知大学)
照会事項									
1．蒲都市市有地の借用について									
・ 借用する	○	○	○		○	○	○		
・ 借用しない				○					
2．借用面積について									
m ² (m × m)	195(13×15)	168(12×14)	120		180(18×10)	約200	195		
3．その他	本学は、ヨット艇庫の設置予算措置がなされない場合、また他の大学が鬼崎新港に残留し、そのことにより蒲都市から借用が困難な場合でも野積み方式でヨットを保管し、海陽ヨットハーバーに練習拠点を移転させたい。	学生ヨット部は、蒲郡への移転を希望しており、現在学内で機関決定を得るための調査検討中である。		常滑（鬼崎漁港）から撤退し、蒲郡（海陽ヨットハーバー）に移ることとした。しかし、ヨット部の存続問題、艇庫建設費用の予算措置、及び借地の立地条件等、まだまだ慎重に検討しなければならないと考えているので、当分の間は海陽での野積み方式を採用し、様子を見ることとしたい。	借用地に艇庫兼合宿所の建設を希望。床面積 6 5 m² 中 2 階方式	各大学の足並みが揃うことを前提として移転に同意しております。	建物規模はプレハブ程度の簡易な建物で艇庫のみとする。	以下の点により借用に関する回答を控えさせていただきたい。 ・本学の実状からいって艇庫の予算化は非常に困難であり、何年先に予算化されるか予測がつかない状況です。 ・予算化されなかった場合、今回借用の意思表示をしても土地借料の支払いができないこととなる。 ・ヨット部としても艇庫があればいいと考えているが、救助艇の係留にかかる経費を捻出できないようである。(現状のままでかまわないという考えもある。)	